

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者 港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト	
事務事業名	名古屋港ポートビルの管理・運営				連絡先 052-654-7836
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者			事業 期間
	意図(どうい う状態にしたいか)	海事に関する知識の普及により、海事思想の高揚を図ります。			
概要	名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。				根拠 法令等
令和元年度の実施予 定	海事に関する企画・展示を行い、施設を良好に管理しながら、一層親しまれ魅力ある施設となるよう努めていきます。				実施義務
					関連 シート

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	海洋博物館において、伊勢湾台風から60年の節目に、企画展「古地図から学ぶ尾張の歴史～名古屋港から防災を考える～」を開催したほか、南極観測船ふじにおいて、砕氷艦「しらせ」の寄港に合わせ、南極の自然環境や南極観測事業の理解を深めていただくことを目的とした「南極教室」を開催しました。 展望室、海洋博物館及び南極観測船ふじは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日～3月31日まで臨時休館しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	86,727	61,240	148,110	98,692	事業費には、本組合が実施した施設の工事費等を計上しています。なお、令和元年度は、補修工事の増に伴い、事業費が増加しました。
人件費	千円	6,360	4,702	4,679	5,247	
合計	千円	93,087	65,942	152,789	103,939	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人)	目標			46		48	過去の実績等を踏まえた目標入館者数(展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ3施設の合計)	天候
	実績	51	46	45				
(単年度管理型)		事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
来館者の満足度(%)	目標			80		85	来館者へのアンケート実施結果	
	実績			85				
(単年度管理型)		事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)		入館者数は、感染症拡大防止のための臨時休館(令和2年3月2日～3月31日)により、目標をやや下回りました。なお、感染症の影響がなかった場合は、平成30年度の実績に照らすと、目標は達成可能であったと考えられます。来館者の満足度は、目標を上回っており、意見についても概ね好評でした。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 海事に関する知識の普及は、本組合として必要と考えます。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ また、広く一般の利用を対象としており、ニーズに応えています。						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 入館者数は臨時休館のため、目標をやや下回りましたが、海洋博物館において、海洋博物館において、伊勢湾台風から60年の節目に、企画展「古地図から学ぶ尾張の歴史～名古屋港から防災を考える～」を開催したほか、南極観測船ふじにおいて、砕氷艦「しらせ」の寄港に合わせ、南極の自然環境や南極観測事業の理解を深めていただくことを目的とした「南極教室」を開催するなど、海事に関する展示を通じた、海への親しみと知識の普及に貢献しています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。						

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、海事に関する知識の普及を継続する必要があるため。また、目標値をやや下回るものの、概ね達成しているため成果・コストは維持とします。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題		2年度以降の取組	
安心して利用してもらえるよう、感染症の拡大防止対策を強化する必要があります。		感染症に伴う臨時休館等を踏まえた取組として、感染症の拡大防止対策を実施するとともに、webを活用して名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの魅力を広く発信していきます。	